

## 青森県教育委員会第288回臨時会会議録

期 日 平成23年10月26日（水）

場 所 教育庁教育委員会室

### 議事目録

- 議案第1号 平成24年度青森県教育委員会事務局及び教育機関（学校を除く。）の職員人事異動方針案
- 議案第2号 平成24年度県立学校職員人事異動方針案
- 議案第3号 平成24年度県費負担教職員人事異動方針案
- 議案第4号 平成24年度青森県立高等学校（全日制の課程）入学者募集人員について
- 議案第5号 平成24年度青森県立高等学校（定時制の課程）入学者募集人員について
- 議案第6号 平成24年度青森県立高等学校（通信制の課程）入学者募集人員について
- 議案第7号 平成24年度青森県立八戸水産高等学校専攻科入学者募集人員について
- 議案第8号 平成24年度青森県立特別支援学校高等部入学者募集人員について
- 議案第9号 平成24年度青森県立特別支援学校専攻科入学者募集人員について
- 議案第10号 平成24年度青森県立中学校入学者募集人員について

平成23年10月26日（水）

- ・開会 午後13時30分
- ・閉会 午後13時55分
- ・出席者の氏名  
福島哲男、島康子、高橋幸江、清野暢邦、橋本都（教育長）
- ・説明のために出席した者の職  
白石教育次長、川村参事、赤坂参事、教育政策・学校教育・教職員・生涯学習・スポーツ健康・文化財保護各課長
- ・会議録署名委員  
高橋委員、清野委員
- ・書記  
鈴木学、中村尚吾

## 会 議

### 議事

#### 議案第 1 号 平成 2 4 年度青森県教育委員会事務局及び教育機関（学校を除く。）の職員 人事異動方針案

（川村参事）

青森県教育委員会事務局及び教育機関の職員の人事異動方針は、時代の変化や県民の教育に対するニーズに的確に対応する教育行政を適正かつ積極的に推進するため、職員の志気高揚を図ることはもとより、組織が活力あるものとして有効に機能しうるよう、職員の適正配置と人事の刷新を図るという観点で定めているところである。

平成 2 4 年度の職員人事異動については、引き続きこの観点で実施することとし、今年度の異動方針と同様とするものである。

（福島委員長職務代行者）

何か質問、意見はあるか。

（清野委員）

実施方針（3）「女性職員の多様な分野での登用に配慮する」とは、どういうことなのか。言葉をそのまま捉え、昇任に際して女性を優遇するということか。

（川村参事）

職員の昇任については、「能力、成果重視の昇任を行う」としている。したがって女性職員について能力にかかわらず昇任させることはなく、女性を優遇するというのではない。この実施方針の中で、このように規定したのは、人事異動に当たっては男性職員に限らず女性職員についても様々な分野で活用していくということを人事における配慮事項として示したものである。

なお、この考え方は知事部局と同様である。

（清野委員）

登用に際しては、女性だから男性だからということではなく、あくまで基本方針（4）にあるとおり性別にかかわらず、「能力、成果重視の昇任を行う」という理解でよいか。

（川村参事）

そのとおりである。

（福島委員長職務代行者）

ほかに何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第1号は原案のとおり決定することに異議はないか。

(全委員)

異議なし。

(福島委員長職務代行者)

議案第1号は原案どおり決定する。

## 議案第2号 平成24年度県立学校職員人事異動方針案

(奈良教職員課長)

平成24年度県立学校職員人事異動方針については、青森県高等学校長協会から意見を聴取し、検討した結果、今年度の人事異動方針と同様とするものである。

(福島委員長職務代行者)

何か質問、意見はあるか。

(島委員)

この異動方針に異論はないが、実態として中堅の優秀な教員がどうしても都市部から離れがたいというか、固定化しているような現状が見受けられる。

実際に人事異動を行うに当たっては、基本方針(3)についてさらに果敢にやっていただきたい。これは、全県的な視野というだけでなく、変化の中に身を置いたり新しいチャレンジをすることが自分自身の成長になるということなので、そういう意識付けを是非教員方にしていただきたい。

(奈良教職員課長)

基本方針(3)では「郡部と市部との相互交流を図る」としている。実際の異動に当たっては、各学校長の意見を聴きながら行っているが、実態としては都市部に中堅教員やベテラン教員が多くなっている。今後の人事異動に際しては、この方針に基づいて行っていきたい。

(福島委員長職務代行者)

ほかに何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第2号は原案のとおり決定することに異議はないか。

(全委員)

異議なし。

(福島委員長職務代行者)

議案第2号は原案どおり決定する。

### 議案第3号 平成24年度県費負担教職員人事異動方針案

(奈良教職員課長)

平成24年度県費負担教職員人事異動方針については、市町村教育委員会連絡協議会教育長会から意見を聴取し、検討した結果、今年度の人事異動方針と同様とするものである。

(福島委員長職務代行者)

何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第3号は原案のとおり決定することに異議はないか。

(全委員)

異議なし。

(福島委員長職務代行者)

議案第3号は原案どおり決定する。

### 議案第4号 平成24年度青森県立高等学校（全日制の課程）入学者募集人員について

(奈良教職員課長)

本県における平成24年3月の中学校卒業見込み者数は13,814人であり、本年3月に比べて143人減少する見込みである。平成24年度の募集人員計画については、今年度の募集人員と各地区毎の入学見込者の状況等を勘案して策定している。

東青地区については、学級の増減は行わないこととする。

西北五地区については、鱒ヶ沢高校普通科を1学級35人の減とし、西北五地区全体で35人の削減とする。

中弘南黒地区については、学級の増減は行わないこととする。

上十三地区については、六戸高校普通科を1学級35人の減、百石高校商業科を募集停止による1学級40人の減として、上十三地区全体で75人の削減とする。

下北むつ地区については、大間高校普通科を1学級35人の減とし、下北むつ地区全体で35人の減とする。

三八地区については、三戸高校商業科を募集停止による1学級35人の減として、三八地区全体で35人の削減とする。

この結果、平成24年度の県立高等学校（全日制の課程）入学者募集人員は、平成23年度に比べて180人減の9,820人とするものである。

(福島委員長職務代行者)

何か質問、意見はあるか。

(島委員)

上十三地区が最も削減が大きい地区だが、このうち1学級減の六戸高校について、近年の志望状況、入学状況を教えていただきたい。

(奈良教職員課長)

六戸高校については、定員割れは近年ほとんど生じていないが、過去5年間の入学者のうち六戸町からの入学者は25%程度で、残りのほとんどが十和田市や三沢市からの入学者となっている。

第3次実施計画前期においては、上北地区では5年間に5学級の削減をすとしてい  
るが、平成24年度については上北地区で中学校卒業生数が105人の減と見込まれている。

このような上十三地区全体の状況を勘案して、六戸高校を1学級削減するというこ  
とである。

(福島委員長職務代行者)

ほかに何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第4号は原案のとおり決定することに異議はないか。

(全委員)

異議なし。

(福島委員長職務代行者)

議案第4号は原案どおり決定する。

#### 議案第5号 平成24年度青森県立高等学校（定時制の課程）入学者募集人員について

(奈良教職員課長)

定時制の課程については、来年度においても本年度とほぼ同程度の入学者が見込まれる  
ことから、募集人員を平成23年度と同数の640人とするものである。

(福島委員長職務代行者)

何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第5号は原案のとおり決定することに異議はないか。

(全委員)

異議なし。

(福島委員長職務代行者)

議案第5号は原案どおり決定する。

**議案第6号 平成24年度青森県立高等学校（通信制の課程）入学者募集人員について**  
（奈良教職員課長）

通信制の課程については、定時制の課程と同様、来年度においても本年度とほぼ同程度の入学者が見込まれることから、募集人員を平成23年度と同数の500人とするものである。

（福島委員長職務代行者）

何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第6号は原案のとおり決定することに異議はないか。

（全委員）

異議なし。

（福島委員長職務代行者）

議案第6号は原案どおり決定する。

**議案第7号 平成24年度青森県立八戸水産高等学校専攻科入学者募集人員について**  
（奈良教職員課長）

同校には、専攻科として漁業科と機関科が設置されているが、専攻科では、修業年限である2年の間に実習及び専門科目を履修することにより3級海技士の航海又は機関の受験資格を取得させることをねらいとしている。

募集人員については、平成23年度と同数の漁業科、機関科それぞれ10人、計20人とするものである。

（福島委員長職務代行者）

何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第7号は原案のとおり決定することに異議はないか。

（全委員）

異議なし。

（福島委員長職務代行者）

議案第7号は原案どおり決定する。

**議案第8号 平成24年度青森県立特別支援学校高等部入学者募集人員について**  
（中村学校教育課長）

平成24年度の県立特別支援学校高等部入学募集人員は、全体で54学級302人の募集とし、募集人員は平成23年度と比較して4学級12人の増とするものである。

平成23年度と比較した増減の内訳として、知的障害の対象校では青森第二養護学校が普通学級1学級減により8人の減、弘前第一養護学校が普通学級1学級増により8人の増、森田養護学校が普通学級1学級減により8人の減、黒石養護学校が普通学級1学級増により8人の増、また肢体不自由の対象校では青森第一高等養護学校が重複学級1学級増により3人の増、八戸第一養護学校が重複学級3学級増により9人の増とするものである。

(福島委員長職務代行者)

何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第8号は原案のとおり決定することに異議はないか。

(全委員)

異議なし。

(福島委員長職務代行者)

議案第8号は原案どおり決定する。

#### **議案第9号 平成24年度青森県立特別支援学校専攻科入学者募集人員について**

(中村学校教育課長)

県立盲学校には、高等部のほか専攻科としての理療科を設置しているが、この専攻科のねらいは、修業年限3年の間に実習及び専門科目を履修することによりあん摩・マッサージ・指圧師、はり師及びきゅう師の資格を取得することにある。募集人員は、平成23年度と同数の8人とするものである。

(福島委員長職務代行者)

何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第9号は原案のとおり決定することに異議はないか。

(全委員)

異議なし。

(福島委員長職務代行者)

議案第9号は原案どおり決定する。

#### **議案第10号 平成24年度青森県立中学校入学者募集人員について**

(奈良教職員課長)

青森県立三本木高等学校附属中学校の募集人員については、平成23年度と同数の2学級80人とするものである。

(福島委員長職務代行者)

何か質問、意見はあるか。

なければ、議案第10号は原案のとおり決定することに異議はないか。

(全委員)

異議なし。

(福島委員長職務代行者)

議案第10号は原案どおり決定する。